

夜久野自治会だより

第57号

令和3年
3月号



おもな内容

事業報告	2
決算報告	3
夜久野の未来を創る集い	4・5
夜久野いきいき大会	5
まちかどフォト	6
輝く夜久野の子どもたち	7
まごころ銀行(ふるさと基金)	8

【子午線標柱をイメージした イルミネーション】

昨年12月14日から今年1月16日まで、夜久野ふれあいプラザ駐車場付近で輝いていたのは、高さ4mの子午線柱。

夜久野みらいまちづくり協議会の移住経済交流部会の会員さんによる力作です。

令和二年度（夜久野町連合自治会）事業報告

- 1、コロナ禍に対する政府（府、市）の緊急事態宣言（2回）に協力し、夜久野町連合自治会員に、不要不急の外出、集会、会食等の自粛、及び三密をさけマスク手洗いの励行を「自治会だより」を通して呼びかけました。
- 2、各自治会要望書を取りまとめ、府及び市へ5月末までに提出しました。
- その後、要望書に対する市の回答会を8月25日に、府の回答会を9月15日に夜久野ふれあいプラザで開催しました。
- 3、河川掃除委託事業（府）の継続実施と実施自治会への委託費配分。
- ① 各自治会の河川草刈りの作業実施報告書（実施状況写真添付）を取りまとめて府に提出しました。
- ② 7～8月上旬にかけ検討委員会委員で現地に赴き、河川掃除実施状況や作業区域など確認しました。
- ③ 府からの委託費は、実質的草刈り面積に応じて各自治会に配分しました。
- 4、「河川除草事業管理委員会」設置案を46自治会長に書面提案し（12月）賛否及びご意見を諮ったところ、賛成36、反対4、保留1、無回答5で上記の管理委員会を発足致しました。（次ページに規程）
- 5、旧小学校及び跡地の有効活用試案を取りまとめ、市に提言しました。
- ① 旧明正小学校の校庭・グラウンドの草刈りをしまし

た。参加者は、下地区自治会長（17人）、井田自治会有志、下地区公民館役員、まち協閉校活用委員の総勢26人でした。

- ② まちづくり協議会と協働して「閉校活用検討委員会」を運営し、旧明正小学校の活用試案を提出しました。
 - ③ 廃校マッチング・バスツアー（主催／市、京都銀行他）で、31社を旧明正小学校に迎え、一括借り上げ希望者の募集に協力しました。
 - 6、空き家バンク登録の促進。
まち協（定住交流促進部会）と協働して、空き家バンク事業に協力し、町外からの移住を促進しました。
 - 7、移動スーパ―「とくし丸」の営業が始まりました。
まち協（福祉あんしん部会）と共同要請して「とくし丸」が夜久野町全域の施設や広場さらには個人宅にまで移動営業を始めました。
 - （月、木）千原、末、小倉、平野、板生方面。
（火、金）日置、高内、大油子、直見方面。
（水、土）向、井田、今西中、畑（小畑）方面。
 - 8、「家庭「ミカレンダー」の作成と配布。
 - 9、「夜久野自治会だより」の発行（年3回）
コロナ禍のため、発行回数を通常4回を3回に、ページ数も縮小し、協賛金（広告）の募集も控えました。
 - 10、地元紙誌の取材に積極的に協力し、夜久野町内の行事や各自治会活動等を紹介していただきました。
- 京都新聞、両丹日日新聞、ラサンカ、など。

令和2年度 夜久野町連合自治会 決算報告書(中間)

◎一般会計

令和2年4月1日～令和3年1月31日

〈収入の部〉

単位：円

科 目	2年度予算額	2年度決算額	増 減	摘 要
繰 越 金	184,875	184,875	0	前年度より繰越金
会 費	591,500	589,000	▲2,500	500円×1,178戸
協 賛 金	190,000	0	▲190,000	企業・団体なし
特別会計より	200,000	200,000	0	
雑 収 入	0	2	2	預金利息
合 計	1,166,375	973,877	▲192,498	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	2年度予算額	2年度決算額	増 減	摘 要
会 議 費	3,000	0	▲3,000	施設使用料 他
通 信 交 通 費	30,000	24,560	▲5,440	切手・はがき・郵送料 (①1,720、②1,740)
事 務 費	30,000	21,474	▲8,526	コピー用紙・インク他
事 業 費	812,000	516,200	▲295,800	自治会だより (①56,100、②56,100) ゴミカレンダー (44,000)・プール支援 (0) 事務局委託費 (360,000)
予 備 費	291,375	0	▲291,375	
合 計	1,166,375	562,234	▲604,141	

◎特別会計

府中丹西土木事務所と業務委託契約を締結し、受託料のうち12,967,000円を44自治会に配分しました。

※ 年度末の決算につきましては、自治会だより第58号で報告します。

《河川除草事業管理委員会規程》

1 目的

この規程に定める「河川除草事業管理委員会」(以下、「委員会」と称する。)は、「夜久野町連合自治会」(以下、「連合」と称する。)が、各自治会等と協力連携して、京都府から受託する「河川除草事業」を適正且つ円滑に管理運営すると共に、災害の発生など「自然環境の変化」や過疎高齢化など「社会環境の変化」から派生する、事業執行上の諸課題解決への取り組みを進める事を目的として、「連合」が設置する。

2 構成

「委員会」は、委員長1名、副委員長2名、委員3名で構成し、委員長には「連合」の会長を充て、副委員長には「連合」の副会長を充て、委員には「河川除草事業」に関して知見を有する者の中から、上夜久野・中夜久野・下夜久野在住者1名ずつを委員長が選任する。

3 任期

委員長及び副委員長の任期は1年とし、委員の任期は3年とするが、共に再任は妨げない。

4 費用弁償

委員長が選任した委員の出役に対しては、適宜の費用弁償を行うことができる。当面の費用弁償は、半日見合いの額を五千円とし、年間10回程度の出役を見込むものとする。

5 活動

「委員会」の経常的な年間活動を次の通りとする他、委員長が必要と認める場合は適時招集することが出来る。

4月 管理委員会(新年度計画)

5月 「連合」総会・幹事会事業計画報告・実施協議

6月 除草前の河川見廻り・京都府との契約交渉

7月 事業実施状況の見守り(事業調整)

8月 事業実施報告書取り纏め

9月 事業完了確認・京都府への完了報告

10月 各自自治会への受託金の算定・配分

11月 事業実績検討会(課題と対策の検討)

12月 「連合」総会・幹事会事業実績報告・課題協議

6 規程の改廃

この規程の重要な改廃は、「連合」会長が発議し、「連合」総会の承認を経て行う。

附則 この規程は、令和3年4月1日より施行する。

みらいを創る集い



「創る集い」が開催されました。感染対策により人数を少なくし、夜久野学園 8 年生
いました。

「中学生と大人が一緒にやってみたいこと」について意見交換し、大いに盛り上がり



出されたアイデアを
どんどん書き出して
いきます。すぐに取り
組めるものからスケ
ールの大きなもの
まで、いろいろ出
ました。



はじめはお互いに緊張して
いましたが、夜久野の「す
きなところ」を出し合
ううちに共感が生ま
れ、和やかに進行
していきました。



閉会式では、各グループの内容を報告し
あいました。

中学生が、要点をわかりやすく発表して
くれました。

「中学生と大人が一緒に取り組みたいこと」には、たくさんのアイデアがだされました。
とりわけ生徒会の「アルミ缶回収」は、収益金を被災地に寄付するなどの実績があり、
なんとか地域を挙げて支援したいとの思いが高まりました。

まちづくり協議会でも 1 月以降話し合いがなされています。

世代を超えて語り合う 住みやすい夜久野

夜久野の

12月12日(土)、夜久野ふれあいプラザを会場に、「夜久野のみらいを12人と大人12人が、4人ひと組のグループに分かれ、じっくりと話し合
前半は「夜久野のここが好き」「ここがすばらしい」を語り合い、後半は
ました。

参加者の感想

夜久野のことについてたくさん意見を出し合い、多様な考えが生まれてとてもいい話し合いができた。地域の方とも交流ができて、なかなかない機会に参加できてよかった。(中学生)

生徒さんが自分の考えをしっかりと発言されていたのに感心したし、夜久野の良さをきちんと見つめ発展させるアイデアを真剣に考える姿に感銘を受けた。(50歳代・女性)

とても楽しく話しやすかった。みんなが夜久野のことを考えていたのでうれしかった。(中学生)

8年生の意見を聞くのは楽しかった。夜久野のことを誇りに思い、自分ができることから実践して、明るい活発な町にしたい。

(20歳代・女性)

夜久野学園8年生のみなさんと話し合う機会が得られてうれしかったです。しっかりとした意見を持っている8年生のみなさんはすばらしいです。(60歳代・男性)

夜久野いきいき大会

(高齢者あんしん講座)

3月10日(水) 夜久野ふれあいプラザで、高齢者を対象に、「夜久野いきいき大会」が開催されました。

85人の参加者が集い、西部保健福祉センター青木洋子所長さん

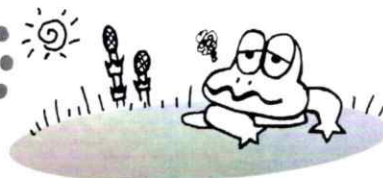


による、コロナ禍でも心身共に健康で過ごすためのワンポイントアドバイス、大道芸人たっきゅうさんによるパフォーマンスと講話を聴きました。笑って学んで交流して、充実のひとときを過ごしました。



大道芸人
たっきゅうさん

まちかどフォト



上夜久野地区

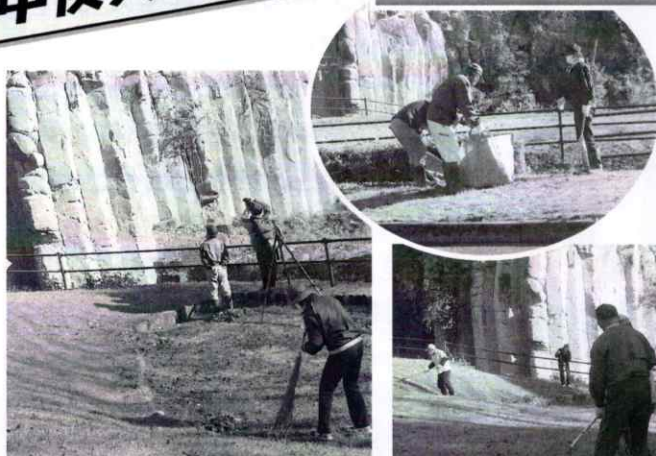
わら細工教室

12月26日(土) 上夜久野地区公民館とさわやか館共催の、「わら細工教室」が開催されました。武田幸彦さんの指導により、わらをしごくところから始め、手順を踏みながら、仕上げていきました。参加者16人はごぼうなどのお正月飾りを仕上げて持ち帰りました。



中夜久野地区

玄武岩公園そうじ



11月22日(日)、恒例の玄武岩公園の美化作業が開催されました。お子さんから高齢者まで43人が参加し、落ち葉やゴミを拾い、たいへん美しくされました。

他府県からの観光客から「ご苦労様ですね」の声もかけていただき、心も晴れやかになりました。

下夜久野地区

わら細工教室

12月20日(日) 夜久野ふれあいプラザを会場に、「わら細工教室」を実施しました。高尾正夫さんに指導をお世話になり、23人の参加者は熱心に作業しました。約3時間かけて、ごぼうなどのお正月飾りを仕上げました。



輝く夜久野の子どもたち

夜久野学園 地域とともに子どもたちを育てる

「これからも大切にしたいこと」

令和二年度は新型コロナウイルス感染症対策により、春のたつぷりどつぷりツアー、秋の地域運動会、さらにPTAの五月の資源回収など児童生徒が、地域のよさを知ったり、地域の皆様と一緒に行動したりする行事がほとんど実施できずに大変残念に思います。

そんな中でしたが、十二月にまちづくり協議会主催の「夜久野の魅力を創る集い」に8年生が参加しました。夜久野の魅力や中学生と大人が一緒にしてみたいことについて地域の方々と話し合いながら有意義な交流ができました。アルミ缶回収の取組を充実させるため各地域に回収場を設ける「中学生が英会話ができるようになり、外国人の方が移住する町にしたい」さらに、「夜久野の自然や文化財など夜久野のよさを発信する紹介ビデオを作成する」などの意見が出されました。



12月12日：夜久野の
みらいを創る集い

続いていききたいと思います。さて、夜久野学園では、今年度ICTの活用方法について研究を進めています。教員が授業等でICT機器を活用し、子どもたちの理解がより深まることをめざしています。さらに、子どもたちがICT機器を十分に使いこなし、活用できる能力も身に付けさせたいと考えています。



一人1台のタブレットを
使った個別学習

これからは、家にいながら世界とつながり、ビジネスが行われる時代になるとも言われています。これからの時代に求められる力の育成も図っていききたいと思っています。これまで大事にしてきた人となる力やことばの力、これからの時代に必要とされる力を学校・家庭・地域が連携して育てていきたいと思っています。

最後に、新型コロナウイルスの早期の収束を願いつつ、今後とも皆様にはご協力・ご支援をいただきますようよろしくお願いします。

額田児童館の活動

令和二年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、計画していた事業内容を変更し、行ってきました。

菜園体験では、社会福祉協議会上夜久野地区役員様に教えていただき、さつま芋の収穫と栗拾いを体験し、大小のお芋に、歓声を上げていた子どもたちでした。

創作教室は、夜久野在住の方を講師としてお世話になり、貝の美しさや自然を大切にすることを学び、置物を作りました。また、福知山市社会福祉協議会の方より指導を受け、ユニバーサル透明マスクの必要性を知り、作成することができました。

石鹸を使ったデコパージュソープ、保冷剤で作る、デオドラインボトル等、子どもたちや、保護者、地域の皆様と一緒に、工夫をして楽しみながら作品を完成させました。

新しい取り組みとして、地域の方々を対象に体操教室を行い、3B体操、リズム体操、エクササイズで、皆様には心身ともにリフレッシュしていただけたことと思います。

これからも児童館として、地域の皆様が集える場所であり、子どもたちが皆様に見守られ、思いやりの心が育つ場として活動できますよう、事業を計画していきます。

これからも御協力どうかよろしくお願いします。



令和2年度 「夜久野ふるさと基金」 事業報告

夜久野ふるさと基金運営委員会

委員長 大江 益夫

「夜久野ふるさと基金」につきましては、今年度も皆様方のご理解と温かいご支援のもと、多くの篤志をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

この篤志につきましては、運営委員会で協議をもち、下記のとおり、自治会保険加入のほか、夜久野地域の福祉・文化・教育活動等に活用させていただきました。

今後とも、地域の皆様のご意見をいただきながら、「夜久野ふるさと基金」のより良い運用を図っていきたく存じますので、引き続きご協力をお願いいたします。

記

- (1) 自治会活動支援として、夜久野町連合自治会「自治会保険」の加入
- (2) 夜久野地域の活性化に向けて、「ふれあいいきいきフェスタ」支援
- (3) 福知山市防犯推進協議会夜久野支部「安心・安全のまちづくり事業」支援

令和2年度 夜久野ふるさと基金決算書(中間)

3月6日現在

【収入の部】 (単位円)			【支出の部】 (単位円)		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
繰越金	799,988	令和1年度繰越金 (商品券 110,000円分含む)	保険料	316,870	令和元年度 自治会保険料
寄付金	665,000	篤志寄付21件(625,000) 仏教会(40,000)	粗品代	31,416	線香セット(お供え) 30セット
雑収入	1,100	※保険料返金(令和1年度調整分)	事業支援金	46,310	ふれあいいきいきフェスタ実行委員会
利息	6	(2+4) 8月・2月	活動費助成	20,000	防犯推進委員協議会夜久野支部
収入合計	1,466,094		印刷代	35,000	夜久野ふるさと基金だより(令和1年度)
			事務費 (委託)	51,038	事務委託費(50,000円) 会議資料印刷(1,038円)
			支出合計	500,634	

収入1,466,094円－支出500,634円
＝965,460円(商品券 78,500円含)

次年度繰越金予定額 965,460円

会計 谷口 辰夫

年度末の決算につきましては、後日「夜久野ふるさと基金だより」にて報告いたします。

夜久野町の人口は 令和3年2月末日現在

☆人口 3,177人 (-71人)

(男) 1,533人 (-20人)

(女) 1,644人 (-51人)

☆世帯数 1,489戸 (-8)

()内は昨年同期

(市人口統計表による)

篤志ありがとうございました。

☆令和二年十二月
亡母供養 衣川 一尚様(宮垣)

☆令和三年二月
亡母供養 湯口 久美子様(金尾)
亡父供養 平岡 淳子様(雷吉)

☆令和三年三月
亡母供養 馬場 照子様(末)
亡父供養 羽上田 公夫様(西垣)

☆令和三年三月
亡母供養 足立 和仁様(奥)

ふるさと基金
まごころ銀行

編集後記

本年度は、コロナで始まってコロナで終わる一年であつたと思います。

皆様方もやりたいことが出来ないストレスの溜る一年であつたのではないのでしょうか。自治会・各種団体とも行事等軒並み出来ない中、人数制限したり、内容を工夫して出来たことは、コロナ禍でも出来る目安になったと思います。皆様方が祈りを込めた千羽鶴、希望のイルミネーションが届いたのが、コロナワクチンの接種が始まるうとしています。また皆様方とのふれあいや笑顔あふれる日が来ることを楽しみにしています。

まだまだコロナ禍でありますが、感染予防していただき、夜久野の発展の為に歩んでいきましょ。

一年間ありがとうございました。

編集委員一同